

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：県民生活行政費

事業名 第19回日本スカウトジャンボリー派遣事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境エネルギー生活部 県民生活課 生涯学習係 電話番号：058-272-1111(内3027)

E-mail：c11260@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 500千円 (前年度予算額：0千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	500	0	0	0	0	0	0	0	500
決定額	500	0	0	0	0	0	0	0	500

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

青少年の生きる力を育む場として、体験活動の価値が重視されており、これを積極的に行うスカウト活動の円滑な実施のためには、地域における青少年育成指導者の育成を図る必要がある。

(2) 事業内容

第19回日本スカウトジャンボリーにかかる経費の一部を補助する。

期 日：令和8年8月4日(火)～8月10日(月) 6泊7日間のキャンプ

会 場：広島県神石郡神石高原

活 動：これまでに培ったスカウト訓練を基盤に、国内外のスカウト仲間と相互交流を通じて冒険的で楽しい野外活動を行いながら、奉仕活動に励む。

参加者：約8,000人、内岐阜県連盟参加予定100人

(3) 県負担・補助率の考え方

定額：補助対象経費の2分の1以内の額
(生涯教育促進事業費等補助金交付要綱による)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	500	ボーイスカウト岐阜県連盟の日本ジャンボリーへの参加に要する経費の補助金
合計	500	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県教育振興基本計画 基本方針5
目標⑳ 家庭や地域と学校が連携した教育環境づくりの推進
取り組むべき主な施策⑤ 社会全体で子どもたちの学びを支援する取組の推進

(2) 後年度の財政負担

青少年の健全育成と地域の教育力の向上を図るための補助事業であり、次年度以降も継続する必要がある。

(3) 事業主体及びその妥当性

スカウト活動は、集団生活における自己啓発、自然の中での様々な体験活動によって培われる友愛、協力、奉仕のスカウト精神の高揚であり、優れた人格形成への支援をはじめ、青少年の健全育成に資するところが極めて大きいことから妥当である。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	第19回日本スカウトジャンボリー派遣事業費補助金
補助事業者（団体）	日本ボーイスカウト岐阜県連盟 (理由) 集団生活における自己啓発等スカウト活動は青少年の人格形成に与える影響が大きい。
補助事業の概要	(目的) 社会教育の振興を図る。 (内容) 事業に要する経費の一部を補助する。
補助率・補助単価等	定額 (内容) 500千円（補助対象経費の2分の1以内の額） (理由) 社会教育の振興を図るため、事業に要する経費に対し、予算の範囲内で、補助金を交付する（交付要綱）
補助効果	国内外のスカウト仲間との相互交流を通じて、地域の青少年の健全育成を図る。
終期の設定	終期 R8年度（ジャンボリー） (理由) 単年度事業のため

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか スカウト活動の活性化を図ることで、地域の教育力を高める。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (S56)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	達成率

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度
	500	0	0

(これまでの取組内容と成果)

令和 4 年度	<p>感染症拡大のため、分散して開催した。 8月7日東京ジャンボリー大集会には、岐阜県連盟からスカウト2名、指導者1名を派遣した。ジャンボリーサマー2022として、8月7日（日）～8日（月）を含む5泊6日以上のカンパを岐阜県内6か所で開催した。</p>
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和 5 年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和 6 年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>日本ボーイスカウト岐阜県連盟は、青少年の健全育成に尽力している団体であり、これらの団体が行っている人材育成に関する事業に対し、引き続き支援を行い、連携していく必要がある。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価) 3	<p>日本ボーイスカウト岐阜県連盟は、青少年の健全育成に向けた活動を日頃から実践し、指導者や構成員の育成に積極的に取り組んでいる。補助金はこれらの事業費の一部に充てられている。</p>
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	<p>特になし</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 少子化により、団体の構成メンバーが減少しているため、指導者の関わり方も含めた、活動内容全般の工夫改善が必要である。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 単年度の事業であるが、令和9年度は世界スカウトジャンボリーの開催が予定されており、同様の補助金の要望が見込まれる。</p>
